

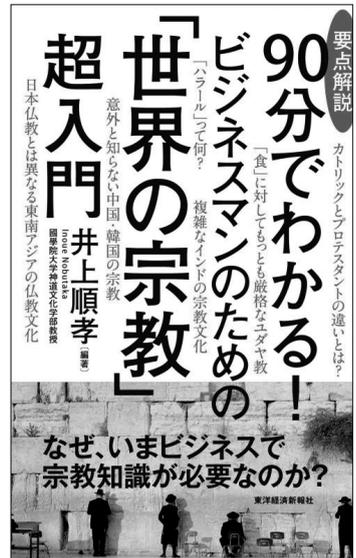
出版物紹介

井上順孝編著『要点解説 90分でわかる！ ビジネスマンのための「世界の宗教」超入門』
(東洋経済新報社、2013年10月)

内容紹介

主としてビジネスマンを対象に、日本と世界の宗教についての基礎的知識を養ってもらうことを目的として編集された新書判の書。次のような構成になっている。

第1章 なぜ、いまビジネスで宗教知識が必要なのか？…グローバル化と宗教 (井上順孝)、第2章 自分たちの宗教のこときちんと知っていますか？…日本の宗教 (井上順孝)、第3章 世界に離散した民族が守っている戒律…ユダヤ教 (井上まどか)、第4章 国を超えるキリスト教 国ごとにまとまるキリスト教…カトリック&オーソドックス (井上まどか)、第5章 さまざまに分かれ、独特な教えの教派も出現…プロテスタント (井上順孝)、第6章 戒律に従って暮らすとは、どういうことか？…イスラム (八木久美子)、第7章 多彩な信仰が織りなす多文化社会の混沌と秩序…インドの宗教 (冨澤かな)、第8章 日本の仏教とどこが大きく異なるのか？…上座仏教 (矢野秀武)、第9章 意外と知らない中国や韓国の宗教文化…東アジアの宗教 (井上順孝)



稲場圭信・黒崎浩行編著『震災復興と宗教 (叢書 宗教とソーシャル・キャピタル 4)』
(明石書店、2013年4月)

内容紹介

2012年から2013年にかけて刊行された叢書「宗教とソーシャル・キャピタル」全4巻の最終巻。同叢書は2006年に発足した「宗教と社会」学会の「宗教の社会貢献活動研究」プロジェクトと、それを発展的に受け継いだ「宗教と社会貢献」研究会の活動を背景とし、既刊として第1巻『アジアの宗教とソーシャル・キャピタル』、第2巻『地域社会を作る宗教』、第3巻『ケアとしての宗教』がある。本書は、特に2011年に起きた東日本大震災からの復興と、そこに宗教がどのように関わっているのかという問題に焦点を合わせ、現在進行形の問題としてこれを論じている。構成は「総説」に続けて「第I部 震災救援・復興における宗教者の支援活動」(第一章～第四章)、「第II部 連携・ボランティアの動き」(第五章～第八章)、「第III部 宗教的ケア・復興への関わり」(第九章～第十一章)となっており、本研究スタッフである黒崎浩行が稲場圭信と共同で編集を務め、また第II部第二章「神社神道の活動」を執筆している。

